Okayama Shoka University
Shodai365
学報2005/1月号
Vol.78
岡山商科大学学報
2005年(平成17年)1月11日発行

新年のご挨拶

40にして惑わず
大学社会の転換期迎え 求められる新たな「姿勢」

岡山商科大学
学長　井尻　昭夫

新年おめでとうございます。皆様におかれましては素晴らしい新年をお迎えになられたこととお喜び申し上げます。

日本の社会が成熟化していく過程において、わが国の経済が世界経済の中に次第に組み込まれ、人も企業も国家も国際的な姿勢が求められてまいりました。その歩みは日々のできごとの中に足跡を印すこともないような小さな歩みでしょうが、知らず知らずの内に大きな足跡を残しています。

大学社会におきましても同じことが言えます。古くは長い鎖国時代を経て、新しい世界の流れにキャッチ・アップする必要から奮い立った明治の初年に、国策として東京帝国大学を創立させて人材の育成をはかり、北は北海道から南は九州にいたるまで満遍なく高等教育の場が設けられたことは画期的なことでありました。長い鎖国であったが故に一挙に知的欲求を充足させる場が設けられたことは、世界的にも類をみない事象であったといえましょう。政府の先見の明に依存するところは大でありますが、政府主導の計画的なリーダーシップが今日の素晴らしい日本の成長をもたらしたものであるといっても過言ではないでしょう。

しかしながら、経済社会の未熟な時代においては、政府の指導は公平感と効率を追及する上では素晴らしいことではありますが、成熟化した今日の社会において、一昔前の政府主導的な体制が果して有効なものであるかどうかは誰しも疑問を挟むことでありましょう。我々凡人の世界に照らし合わせても、小学校時代の親の姿勢と大学生となった時の親の姿勢は自ずと異なることが必要でありましょうし、そうでなければならないでしょう。

この事象と同じ事象が実は大学社会にも現れてまいりました。二〇〇七年に大学全入時代を迎えます。経済社会の成熟化と共に雨上がりの竹の子のように設置されてきた私立大学は文部科学省の厳しい指導のもとに設置を許可されたものの、規制緩和という時代の要請から管理体制は緩められ、その見返りとして自己点検評価システムの導入、第三者評価を受けることが義務づけられてまいりました。しかも全てが「公開」の基本姿勢が示されました。大学についての第三者評価も公開が義務づけられるという、これまでに体験したことのない時代を迎えるにいたっています。長く「象牙の塔」として大なり小なりその性格を有してきた大学が、ある日突然「企業」と同じ状況に置かれることになりました。この事は競争社会における適者生存を意味するものであり、少なくともこれまでの姿勢を抜本的に改革させなければなりません。孔子が「40にして惑わず」というように、創立四十一年目を迎える本学は新たなこれからの十年を見定めて、惑うことなく本学に課せられた社会的使命をまっとうしてゆきたいものです。奇しくも三学部体制の新年でもあり、社会科学系大学としての使命を的確に捉え、時の流れに掉さすことなく、うまく波に乗って行きたいものです。それには誰しもが新たな「姿勢」をとることが必要であり、学生へのサービスを念頭に全員で取り組むことを期待します。

CONTENTS

商大トピック
- ●行政書士センターが開講
- ●法学部開設記念講演を開催
- ●岡本教授「環境おかやま大賞」受賞
- ●キャリア開発論を「YES−プログラム」へ認定申請

キャンパス・キャンバス
- ●ウェイト部 前川君　世界大会で6位
- ●国体へ3名が出場
- ●陸上　津山駅伝で三連覇

商大よろず掲示板
- ●資格をとろう！

40周年記念
- ●同窓会会長　西山氏寄稿
- ●学報でみる「商大生気質（かたぎ）」

商大祭写真館

エッセー数珠つなぎ
- ●法経学部講師　下田大介

就職便り
- ●ワンポイント就職指南
- ●私の就職活動　陶浪信一（商）

情報アラカルト

ANNIVERSARY 40 Okayama Shoka University 創立40周年

商大トピック 其の1

Topic 1 行政書士研修センターいよいよ開講

岡山県行政書士会研修センターの開講記念式が、十月二十六日（火）本学井尻記念館四階ホールで開催されました。

このセンターは岡山県行政書士会（岡山会）に所属する行政書士が、専門家としてより深い知識や倫理観を身に付けるため本学法経学部に開設されたもので、本学の教員などが講師となって講義を行います。

当日はあいにくの雨にもかかわらず約八十名の岡山会関係者が出席し、盛大に式典がとり行われ、中国地区で初めてとなる本講座への関心の高さがうかがわれました。また「行政書士の未来像」と題した、神戸大学大学院法学研究科教授 阿部泰隆氏の記念講演も同時に開催されました。

講義の様子

Topic 2 大学と保護者との架け橋として

保護者懇談会

恒例となった保護者懇談会が、本年度も本学後援会との共催により西日本八会場で開催され、昨年とほぼ同じ一九一名の保護者の方に出席いただきました。（九月五日〈日〉～二十六〈日〉）

近年、参加者が減少傾向にある保護者会ですが、今年度は前年度の実績を維持することができました。地方会場では少人数ということを逆にメリットとし、アットホームな雰囲気で会を進めることができ、岡山会場では卒業生のミニ講義をはじめ、教員総出で面談に当たるなど、より緻密な懇親の場とすることができました。中には話に夢中になるあまり、大幅に予定時間を越えることもあったようです。

当日はアンケートや懇談から貴重な意見を頂きましたが、今後の大学作りに役立てていきたいと思います。参加いただいた方にこの場をお借りしてお礼を申し上げるとともに、来年度はまた、新たな方との出会いを楽しみにしております。

（総務企画課）

岡山会場での卒業生講演
行政書士合格の古川由佳さん（15年法卒）
「お客様との信頼関係があってこその私の仕事。信頼いただけるよう今後も自分を磨いていきたい」と語った。

Topic 3 裁判員制度って？

法学部開設記念講演会

岡山地検 検事正 川端氏を迎えて

十七年度四月の法学部開設を記念して「司法制度改革について」～私たちは裁判員制度とどう向き合ったらよいのでしょうか～と題した記念講演会を開催。講師に岡山地方検察庁検事正 川端伸也氏を迎えました。本学七号館七八一教室で開催した講演会は、三百名弱の聴講者で満員となりました。

「裁判員制度」とは「裁判に一般の国民が参加する制度」という漠然とした理解はもっていても、実際にどのように関わらなければならないか、基準や詳細が不明で、不安を抱く人がほとんどでしょう。川端氏はそんな我々の疑問にひとつずつ答える形で、制度の概要について説明されました。

「法律のことを知らなくても大丈夫なのか？」「トラブルに巻き込まれる心配はないのか？」「仕事と両立は可能なのか？」法廷で人を裁くことなど想像もしなかった私たちの心配は徐々に解消され、講演が進むにつれてその概要が見えてきました。

Topic 4 岡本輝代志 教授 環境おかやま大賞を受賞

総合的な環境保全活動を表彰する「環境おかやま大賞」（循環型社会形成推進部門）を商学部の岡本輝代志教授が受賞し、十月三十日（土）表彰を受けました。

岡本教授は岡山県の諮問機関 環境審議会廃棄物対策部会の会長として、多年にわたり県の環境対策に尽力されています。今回の受賞は、廃棄物の発生抑制や再生利用などの推進に努め、県におけるエコ製品の利用推進を積極的に図るなど循環型社会の形成推進に大きく貢献していることが高く評価されました。

Topic 5

キミの知恵で成功つかめ！

学会学術講演会

日経新聞論説委員 関口和一氏を迎えて

十一月九日（火）本学八三一教室において本学学会主催の学術講演会「ユビキタス情報革命」が開催され、講師に日本経済新聞論説委員 関口和一氏を迎えました。

「ユビキタス」という言葉、ほとんどの方は聞きなれないと思います。また、聞いたことのある人も「その意味」となるとよく知らないのではないでしょうか？

関口氏はこの一聴摩訶不思議な響きの言葉をキーワードとして、現代の情報化社会の実情を世界的な視野を交えて説明されました。「みなさん、情報社会では知恵が必要です。知恵を使って成功を手に入れましょう！」経財政に幅広い人脈を持つという氏は、最近話題となったネット関連企業の若き成功者との交友などを交えながら、学生たちの秘められた可能性を鼓舞するように語りかけました。

まだまだIT・情報化社会の道は切り開かれたばかり。聴講した学生の中から第二第三の三木谷・堀江を輩出する日が来るのかもしれない（？）そんな期待を抱きつつ一時間三十分にわたる講演会は幕を閉じました。

※ユビキタス…ラテン語で「どこにでも偏在する」という意味。瞬時に情報が世界各地へ行き渡ることを象徴している

Topic 6

教員採用試験に二名合格

岡山・広島で各一名

二〇〇五年度の公立学校教員採用候補者選考試験の結果が、本年度も各地で発表されました。高等学校の商業科教員の採用は、生徒数の減少などにともない極めて少なく、非常に厳しい状況であります。そのような中で、岡山県では本学卒業生の河田好美さん（平成十二年商卒）が、採用枠一名に対して百倍の競争率といわれる難関を突破して合格しました。また広島県では本田綾さん（平成十一年商卒）が見事に合格を果たしました。

二人の合格は、教採試験を目指して厳しい状況のもとで頑張っている本学卒業生や、教職課程選択の学生諸君に明るい展望を与えてくれるものと思います。これからは、教え子たちの心に残る立派な教師として活躍されることを期待したいものです。

（教職課程　商学部助教授　伊藤勝巳）

河田さんが現在勤務されている勝山高等学校の生徒が作成したホームページ「えんでぇ。勝山　のれんの町」が「岡山県スクールインターネット博」で最優秀賞を受賞しました。河田さんも指導教員の一人としてホームページ作成にあたられました。勝山の町並みや完成までの道のりが、高校生らしい率直な言葉で綴られています。勝山高校のホームページからリンクされていますので是非一度訪れてみてください。（編集記）

〈http://www.katuyama.okayama-c.ed.jp/school-haku/katuyamatoppage.htm〉

Topic 7

後期入学式挙行

大学院

十月三日（日）大学院後期入学式が、本学本館大会議室で挙行され、九名が入学しました。内訳は次のとおりです。

○商学研究科……七名
○法学研究科……一名
○経済学研究科…一名

県商業高校協会主催の講演について

「日米の文化・ビジネスの違い」

法経学部経済学科教授　梅原　嘉介

本年度、岡山県商業高校協会の国際経済分野では、「国際理解の推進」を取り組むべき共通テーマとした。その推進の一貫として、「日米の文化・ビジネスの違いの理解」という講演を私の留学経験を踏まえながら1時間30分行った。（11月9日〈火〉於：本学井尻記念館）特に、講演の中心内容は1980年代の不況であった米国と、繁栄していた日本が1990年代になぜ立場が逆転したか、日米逆転のパワーの源がどこにあったかについてであった。

日米のパワーの違いとして、まず取り上げたのは「両国の文化の型」の違いが際立っている点である。文化人類学的に両国を対比されると、古くは1946年にルース・ベネディクトが「菊と刀」で述べたように、日本は「恥の文化」、米国は「罪の文化」を持つので、社会への行動パターンが大きく異なることになる。ビジネスへの失敗を恐れる国民性と果敢に挑戦する国民性の差が出る。さらに、よく知られた見解として日本が「農耕民族」で欧米は「狩猟民族」なので、社会に対する積極性に大きな差があり、その差がビジネスへの影響をもたらすとの指摘である。

しかし、私の米国体験からすると、どちらの見解もパワー源の説明としては不満足に感じた。新たな見解として、日本はマイナス思考（アナログ思考）の文化、国民性を持ち、米国はプラス思考（デジタル思考）の文化、国民性を持つと思われる。その一つの根拠として計算能力の違いを指摘した。日本では100−73の計算は27と小学生でも簡単に答える。しかし、米国ではこの引くという考えはなく74、75と足していき、27と答えを出すのである。

このように、ビジネスの基礎ともいえる計算能力の差こそが、日米の文化、国民性、さらには企業経営にも計り知れない違いをもたらしている。日米の具体的事例を多数挙げながら説明した。

最後に、これからの国際交流を実りあるものにするには、表面的な付き合いでなく、日米の文化、国民性を踏まえた、息の長い付き合いこそが必要であると締めくくった。

Okayama Shoka University

キャンパスキャンバス

商大・学生魂ここにあり！

世界ジュニアで六位

●ウェイト部

前川昌範（産四）

九月八日（水）から十二（日）まで、南アフリカのプレトリアで開催された「世界ジュニアパワーリフティング選手権大会」にウェイトトレーニング部の前川昌範君（産四）が昨年に引き続き出場を果たし、みごと第六位の成績を収めました。

けがによる膝の手術が完全に癒えず、ベストとは程遠いコンディションで臨んだ予選大会では、持ち前の根性と情熱で激戦を勝ち抜いて出場権を掴み、世界戦では昨年の記録を大幅に上回るトータル５０７・５kgで六位の成績を収めました。残念ながら自己ベストには届きませんでしたが、表情からその結果に大いに満足しているようでした。

初めて国体に出場して

●国体夏季大会（まごころ国体）競泳競技 岡山県代表

水泳同好会　木阪　剛（商四）

私にとって国体とは遠い存在の試合でした。四歳の頃から水泳を始めましたが大学に入学するまで全国大会に出場したことがありませんでした。高校卒業時に引退することも考えましたが、やはり自分の目標である全国大会に出場することが諦められず続けることに決めました。そして大学二年生の時に全国大学選手権に初めて出場することができ、四年生の時に国体予選で優勝して初めて国体に出場することができました。

国体が近くなるにつれ少しずつワクワク感と緊張感が増してきました。そしていよいよレースの日がやってきました。うまく集中出来たのですがあまりタイムは良くありませんでした。自分の分からないところでプレッシャーを感じていたのかもしれません。

今回の国体に出場したことを良い経験としてこれからに役立てればと思っています。みなさんも水泳は全身運動でとても健康に良いので水泳をしてみればどうでしょうか。色々な経験も出来てとても楽しいスポーツです。生涯スポーツとして自分自身もこれからも続けていきたいと思います。

津山駅伝で三連覇

●陸上競技部

山崎（六区）が区間新で花添える

十一月十四日（日）開催された「第二十二回津山駅伝競走大会」一般男子の部で陸上競技部が昨年に引き続き優勝、この大会三連覇をなし遂げました。また、六区を走った山崎義和君（商三）が区間新記録を樹立。見事、優勝に花を添えたのでした。

▼山崎君の話

区間新記録を狙ってスタートにつきました。イメージ通りに走れ、チームも三連勝できてとても嬉しいです。

津山路を区間新で力走する山崎君

まごころ国体（埼玉県）へ二名

●柔道競技で女子五位入賞・男子ベスト十六

菊川　顕（法４）

川端秀美（商１）

十月二十三日（土）～二十七日（水）まで埼玉県立武道館で開催された「第五十九回国民体育大会秋季大会（彩の国まごころ国体）の柔道競技に、本学柔道部から菊川顕君（法四）と川端秀美さん（商一）の二名が岡山県代表として派遣され、活躍しました。結果は女子団体が五位入賞、男子団体もベスト十六進出という見事な成績を収めました。なお男子チームには、菊川君のほか三名の本学卒業生も選抜されており、柔道部の伝統と、層の厚さが感じられました。

学友会 四本部役員が決定

十二月二日（木）四二一教室で開催された学生総会で学友会四本部の役員が選出されました。

●学友会本部
会　長　丸橋弘和（経）
副会長　久米達也（産）

●体育会本部
会　長　戸田貴浩（商）
副会長　中田光明（法）
　　岡本直子（商）

●文化会本部
会　長　新家芳樹（法）
副会長　村上恭平（経）
　　石井俊昭（商）

●大学祭実行本部
委　員　長　林進一郎（商）
副委員長　今崎亜希子（商）

11/12(金)・13(土)・14(日)

H16年 第39回 商大祭

全力疾走
折り鶴40万羽への道のり

私の就職活動
自分の就活スタイルを見つけ内定ゲット

トマト銀行内定
商学部商学科4年　陶浪　信一

私が就職のことを本気で考え始めたのは３年の10月からでした。以前から就職に関しては興味を持ち、どんな企業が求人を出しているのだろうと就職課を訪れたりしていましたが、いざ自分自身のこととなると、最初は何をするかまったくわからず五里霧中といった感じでした。

役に立ったガイダンス

その時に役に立ったのが就職ガイダンスでした。月に一度学内で開かれていたものに毎回のように出席していた私は、資料も豊富にあり、何より講師の方々に話していただいたことがメモとして手元に残っていたので、その通りに実行することにしました。例えばリクナビなどの就職サイトに登録する、自己分析を始める、新聞を読む習慣をつけるなどです。

合説で場慣れ

2004年の１月に就職課の主催で「大阪エキスポ2004」という超大型の就職合同説明会に参加しました。私にとってはじめての合同説明会への参加となり、会社の人事の方と面と向かって話をするのはとても緊張しました。会場では多くの学生が熱心に企業の方の話へ耳を傾け、就職への意気込みを肌で感じることが出来ました。ちょうどこの頃に、自分自身の志望する職種が明確になり、金融業界と放送業界、そして人材派遣業界に重点を置き活動をスタートさせました。まずは合同説明会に積極的に参加することでした。私自身とてもあがり症でしたので、とにかく慣れることに重点を置き、３月から４月にかけては合同説明会に頻繁に足を運び、色々な人事の方と話をする機会をもうけました。そのおかげで実際の面接試験の際にも、あまり緊張することなく自分の意見が言えるようになりました。私自身特別なことをした覚えはありませんでしたが、比較的多くの採用試験を受けたので、色々な企業を知ることができ、楽しんで就職活動ができたと思います。ある人材派遣会社の採用試験では、その会社の主催する就職セミナーの裏方として手伝ったこともありましたし、またある会社ではすごく変わったテーマのグループディスカッションを経験しました。私は県内勤務が志望だったので、交通などお金の心配はいりませんでしたが、人によっては週に３回岡山から東京を往復したと言う話を聞いたこともあります。志望する会社によってはたくさんお金がかかることもあるようです。

オレ流のスタイルを

最後にわたしから３年生の皆さんへアドバイスすることは、自分にあった就職活動をしてほしいということです。これから皆さんは色々な人に就職活動中に関する話を聞くことと思います。ある人は１日３社の採用試験に臨み、またある人はSPIの問題集を５冊したというかもしれません。しかしそれはその人のやり方であって、それを真似したから内定をもらえるということではないと思います。要は自分の「就活スタイル」を見つけること。そのためにもできるだけ早く就職活動を始めていきましょう。

好評!「業界別OB座談会」

昨年度から行っている「業界別OB座談会」が本年度も11月30日を皮切りに、６業界７名のOBに登場いただき、ご自身の就職活動体験記から現在のお仕事のこと、そして業界全般についてまでインタビュー形式でお話いただきました。

表題のとおり「座談会」と掲げており、OBと学生が双方向にざっくばらんに話をできるような会となるよう心がけました。そのせいか、毎回学生からは積極的な質問等もあり、仕事の内容はもとより、働くことの楽しさや充実感なども吸収したように思いました。やはり、OBの方だけに学生も親近感を持って話を聞くことができ、学生にとって卒業生の方々の偉大さを改めて感じたのではないでしょうか。

業界名	企業等名	OB氏名	卒業年月
警察	岡山県警察本部	飛鷹　壮	平成14年3月
旅行業界	㈱フジトラベルサービス	近藤　貴文	平成15年3月
金融業界	おかやま信用金庫	岡田　賢彦	平成 7年3月
自動車販売業界	ネッツトヨタ山陽㈱	延原　俊夫	平成15年3月
税理士事務業界	森松秀人税理士事務所	上野　悟	平成15年3月
医療機器業界	犬飼医療器㈱	川上　晋	平成15年3月
広告・出版業界	㈱岡山毎日広告社	小松　理紗	平成15年3月

（敬称略）

これだけは気をつけて!
ワンポイント就職指南

組織円満の秘訣＆あなたが大きくなるヒケツ教えます!

昨年を振り返って見ると、大リーグではイチローが84年ぶりに年間最多安打の記録を塗り替えたり、松井秀喜が名門ヤンキースの４番としてポストシーズンで大活躍、プロバスケットでは田臥勇太選手が日本人として初めてNBAで試合出場、ヨーロッパからもサッカーや自動車F1世界選手権での佐藤琢磨選手の活躍など、様々な「日本人快挙！」というニュースが毎日のように配信されてきて嬉しい限りですね！ところで皆さん、海外・国内やスポーツ・文化活動を問わずその分野で成功している人達に共通な点は何でしょう？そうです、「自分」というものを持ちながら「他人の意見やアドバイスを真摯に受け止め、その事について熟考する」という姿勢を持ち合わせているということです。この事は、一つの物事を様々な視点から検証・分析する事で、自分の世界を広げる事につながっているのです。就職活動を控えた３年生だけでなく、商大生の皆さん一人一人が「相手の立場になって考え、他人の気持ちを理解する」ことを実践し、どんどんあなたの「領域」を広げ、懐の深い社会人を目指しましょう!!

サクセスを勝ち取ろう！

就職便り

Okayama Shoka University

インターンシップで自己発見

今夏もインターンシップ（就職課取扱分※1）へ19名の学生が参加しました。今年は、２名の学生が、２社の企業で実習するなど、計21事業所への実習参加となりました。

ここ最近は、インターンシップブームかのように、大学生の中でもインターンシップ参加への機運が高まっており、過去３年間の岡山県内インターンシップ体験者数を見ても、平成14年度：19名、平成15年度：166名、平成16年度217名のように、大変な伸び率を記録しています。そのことは本学学生においても同様であり体験者数も年々増えています。ただ、ここで大事なのはブームだから参加するのでなく、さまざまな職業と出会い、そして実習を通して今まで気が付かなかった自己発見をすることが大切です。参加学生からは、「たくさんの社会人の方とコミュニケーションが出来た。また、実習を通して変化する自分に気が付いた」などの声が聞こえました。

ぜひ一人でも多くの学生が、「自己発見」のインターンシップに参加して欲しいと思います。

※1　就職課では「ハイパーキャンパスシステム」（日本経団連）のプログラムを活用しています。

ナチュラルメイクで就活を有利に

本格的な就職活動に向けて、３年生の女子学生を対象としたリクルートメイク講座を11月18日（木）に開催しました。今回初めての催しであるこの講座には約30名の学生が参加し、好評を得ました。

この講座は、メイクの仕方がよく分からない学生のために、就職活動にふさわしいメイクの基本について、学んでもらおうとアイビー化粧品の唯野紀江氏を講師に迎え、実施したもので、学生たちはテキストを見ながら熱心に聞き入っていました。

就職活動をする上で、特に面接での第一印象は重要なポイントになります。メイクひとつで印象が大きく変わるもの。さわやかさを演出し、好印象に仕上がるメイクポイントについての詳しい説明を受けたあと、数名の学生をモデルに、講師によるメイクレッスンのデモンストレーションが行われました。モデルの学生たちは、最初恥ずかしそうでしたが、メイク後は、顔の印象も明るくなり満足した様子でした。また、「自己流でメイクをしていたけれど、話を聞いて効果的なメイク方法が分かってよかった」などの声も聞かれ好評でした。次のステップとして、業界別メイクの企画も考えています。

この講座を機会に、相手に好印象をもたれる清潔感のあるナチュラルメイクをマスターして、これからの就職活動に活かしてください。

今年もパワー全開!!学内合同企業説明会開催

本学ではこれまでに数多くの卒業生を社会に送り出しており、企業で高い評価を得ています。そういったことから「岡山商科大学の学生を採用したい」との申し出が多くあり、それで始めたのが学内合同企業説明会。この催しは企業人事担当者にお越しいただき、就職活動中の３年生が個別に仕事内容、職種内容、採用試験などについて聞く催しです。就職媒体業者（リクルート等）が主催する合同企業説明会とは異なり採用対象が本学学生であることから、毎年多くの学生がこの説明会をきっかけに内定を頂戴しております。内定の秘訣は積極的に企業を回り多数の業界を知ることです。就職を希望する３年生はパワー全開で動き回ってください。

①日　程／2月10日（木）、2月25日（金）
　　3月10日（木）、3月24日（木）
　　4月27日（水）
②時　間／13時～16時
③場　所／2月、3月は8号館
　　4月は井尻記念館
④その他／スーツ着用で参加してください。

商大よろず掲示板

よろず掲示板では、みなさんからの掲示希望情報を募集しています。学生・父兄の方を問わず、いろいろな情報をお寄せください。

資格をとろう！

資格取得をおすすめします

資格の勉強で、自分の特性発見！

「普段パソコンが苦手だと思っていたけど、目標を持って勉強をしてみると面白かった」、「簿記に興味はなかったけれど、勉強をしてみると自分に向いていることが分かった」という声をよく耳にします。自分の特性を知った上で就職活動をして社会に出ると、楽しく仕事を続けていくことができます。

自信を持って、いざ就職活動へ！

就職活動で、「何とか採用して欲しい」と考えている人と、「自分はこうしたスキルを持っている。採用しないと損だぞ」と考えている人。どちらが企業にとって魅力ある人材に感じられるでしょうか。資格を取得することは履歴書に記載できるということ以上に、あなたの魅力を高めることにつながります。

次号から具体的に資格取得の案内をしていきます。お楽しみに！

（社会総合研究所）

年明けからの就職支援行事予定（３年生）

●第８回就職対策講座
1月13日（木）772教室　14時40分～
面接・企業説明会のポイント

●毎日就職EXPO2005
1月25日（火）大阪ドーム
10時～17時30分
200社以上の人事担当者が出席する国内最大級の就職イベント
大学から無料バスを出します。詳細は就職部まで

●第９回就職対策講座
1月27日（木）772教室　14時40分～
実行プラン作成と活動の注意点

●中国・四国地区オープンセミナー
2月15日（火）広島経済大学
10時～16時45分
日本を代表する企業、地元優良企業25社人事担当者によるセミナー
スーツ着用で参加。大学から無料バスを出します。詳細は就職部まで

40年間という時の流れに思う

岡山商科大学同窓会　会長　西山俊明（第1期卒業生）

岡山商科大学が昭和三十九年に創立されて、今年で四〇年が経ちました。開校当初の第一期生から少なくとも第五期生くらいまでは、教室及びその他の関連施設も満足のいくものではなかったと思います。それを物語るものとして、雪を被った開校当初の校舎の写真が井尻記念館の一階のロビーに掲げられています。田圃の中にぽつんと建つ校舎と建設中の一号館の写真に、改めて時の流れを思います。当時の在校生の殆どは、不安と焦燥感を強く感じたものです。しかし他方では先輩もなく、実績もないことから、強い自立心を芽生えさせられたのも事実です。

それから、四〇年が経ちました。建学の精神が私にどのように宿っているか意識したこともありませんし、四〇年間に醸成されているはずの商大の伝統も気が付かないままです。それでも曲りなりに社会人として大過なく過ごしているのは、自らを向上させるよう前向きに努力をしてきた結果でもあると思います。無意識のうちに備わっている自立心が私を支えているのかも知れません。自立心は自助努力を促すことでもあり、これからの時代には特に自助努力が求められることとなります。向上心をもって一層前向きに努力していきたいと思っています。

四〇年もの時の経過は、大学の置かれている環境を大きく変えています。特に開校当初の昭和四〇年頃には二四〇万人いた十八歳人口は徐々に減少していき、現在では一二〇万人程度になっていますが、更に減少が続きます。当然のことながら入学希望者の全員入学、定員割れの常態化となり、商大においても誠に厳しい生き残り競争を強いられています。今後、大学の倒産・廃校が進行していくことになるでしょう。改めて時の流れの脅威を感じます。一般企業においては、バブル

学報でみる　商大生気質（かたぎ）

ここでは、時を20年以上さかのぼり、過去の学内新聞から当時の商大生の気質の一端を探ってみました。ここで取り上げたのは、諸先輩たちの商大への想い。当時をご存知の方はその頃の心持ちに戻り、そして現在の商大生は自分たちと重ね合わせてみてください。

岡山商科大学学報

発行所
岡山商科大学
岡山市津島京町2丁目
10－1（〒700－8601）
電話（086）252－0642（代）
印刷　山陽印刷株式会社

論説

大学においての生活を考える

今年で満学年となり数ケ月後には第一期卒業生を送り出そうとしている現今、商大もいよいよ力を結集し地域社会に存在を示し且つ位置付ける時がやって来ている。

だが、七百余名がいる商大には若い熱気、団結、対話というものに乏しい感がある。個々がそれぞれの個々の道を歩んでいるとしたら何と寂しいことではないか。それでは、学生はうちとけることもなく学生生活を送ろうとしているにすぎない。

他大に目をやれば彼等は人生感、政治、経済、社会について話し且つ学問について話し合っている。そうすることによって心の中により一層内容のあるそして学びあるものが成長していくのである。大学時代にはそのようなことがあるべきものと思われる。

少くとも最高学府に学ぶ大学生であるならば、大学に於いて友達と又先輩、後輩あるいは先生方と自己の悩み、社会の事、現況の不平、不満その他の事に目をやり話に花を咲かしてもらいたい。そのような姿をより多く見かけることを望むのである。況んや大学とは「自主性」をもって云々。いうまでもないがこの自主性ということが大事なのである。ここで今一度本学の建学の精神を顧みることにしよう。▲広い視野をもって社会に貢献しうる人物。▲学問と真理とに対し謙虚なる情熱をもつ人物。▲躍動の現実に関心をもち創造的に自らの判断を下しうる人物。以上であるがその旨をよく胸におさめておいてもらいたい。且つ、これから「Neo-Student Ship」というものを身につけていき、全学生で育くんでいこうではないか。

社会は切れる頭脳と豊かな人間性を求めている。商大生はこれに十分答えうることが出来るように大学生活を送ってもらいたい。

すべての点において他大に追いつき、追いこせ！

その為にも全学生の一致団結、協力、対話等が必要となってくるのであるが、商大生はそうすることによって商大の名をより高めることが出来るのではなかろうか。全学生の奮起を促す次第である。

岡山商科大学新聞

発行所
岡山商科大学
新聞会
岡山市津島184
題字
有木芳水
印刷所
岡山市駅前町2丁目5番23号
西尾総合印刷KK
℡24－5141

岡山商科大学新聞　第4号（昭和43年11月21日）から
※ 岡山商科大学新聞は当時の学生たちの手によって作られていた新聞です。

の崩壊をきっかけに企業の存亡をかけた変革を余儀なくされて、今現在も存続発展をかけたリストラの断行が継続されています。先般も、ＩＢＭ社がパソコン事業を中国のコンピュータ会社へ一、八〇〇億円で売却し、儲からなくなったパソコン事業から撤退する旨の新聞記事がありました。

時代の流れとして改革の波は、銀行に改革を迫り、国立大学の独立法人化及び公立大学の独立法人化への移行検討へと移り、私立大学の本学的な生存競争へと波及しています。入学希望者は、自分の将来のことを考えて、時代が学生に求める能力を向上させるための支援と対応を真剣に取り組んでいる大学を選ぶことになります。そしてよい指導者のいる最も相応しい大学を自由に選べばよいわけで、決して悪いことではありません。選ばれる大学側は、強い部分や特徴ある部分を二層強化し差別化し、大学内部のエネルギーを高め質的な充実・密度を濃くしていけば導引力が強くなります。そして入学志願者を増加させることになるでしょう。どんな生命体でも組織でも、常に他界との物質やエネルギー交換、そして情報を交換しながらダイナミックに変化を続けていくことで進化し、質的充実と密度が濃くなり大きなパワーが生まれてきます。大学の生残り競争は受験生にとってもプラスであり、真剣に取り組んでいる大学にとっては次の発展の大きな原動力になるものです。商大創立後の四〇年間のうちに、社会経済が大きく変貌して、学生の在り方も変化しており、大学自らが何をもって存在していくのか、その本質が厳しく問われています。もはや発展するか衰退するかのどちらかであり、現状維持は許されない情況です。商大も立派に改革を遂げ、次の発展の原動力として頂きたいものです。

井尻記念館1階に掲げられた「商大原風景」。（昭和40年～41年頃）
当時唯一の校舎であった2号館と建設中の1号館が見える。

ボクの大学像
在学生諸君に聞く

岡山商科大学学報　第14号（昭和59年11月10日）から

岡山商科大学学報　第4号（昭和54年12月10日）から

商大トピック 其の2

Topic 8 観光サービス実習Ⅱ
観光を肌で学ぶ！

国際観光学科では、この九月に、オーストラリアのケアンズで観光サービス実習を実施しました。本実習の目的は、観光地としてのオーストラリアの将来性と課題について考察する機会を学生に提供することです。引率は国際観光学科教員の直井と松浦が担当しました。

ケアンズでは、まずグレートバリアリーフのグリーン島、次にキュランダの熱帯雨林という二つの世界遺産を訪問し、その後に世界観光機関の認定校であるJames Cook Universityで、観光学研究者のProf. Bruce Prideaux よりグレートバリアリーフ及び熱帯雨林での観光振興と環境保護の両立についての講義を受けました。また、最終日には、ジャブカイ・アボリジナル・カルチャルパークでアボリジニの生活文化や歴史についてのデモンストレーションを受けました。

学生は、ケアンズの自然の雄大さに興奮を隠しきれない様子でした。また、現地の日本人観光客向けのサービスの充実度にも驚いていました。学生にとっては、自然遺産の重要性を認識し、自然遺産と観光産業の関わりを肌で感じる機会になったようです。

Prof. Prideauxの講義は、私たちの訪問先についての背景的な情報（環境破壊問題を引き起こす要因、観光・自然環境保護マネジメントの実施母体及びその施策など）を多く含んでおり、学生も大変興味深く聞き入っていました。また、講義前には、James Cook Universityの教員及び学生を交えたティータイムを設けて頂き、学生が英語コミュニケーションを行う貴重な機会を提供して頂きました。

学生が実習後に提出したレポートには、観光振興と環境保全のバランスの難しさや、ケアンズの観光に対する経済的な依存度などを実習で体験したことと関連づけて述べたものが多く、今回の実習は、学生にとって、大学での教育と観光の現場の関連付けを行う機会になったのではないかと考えています。（国際観光学科）

Topic 9 キャリア開発論
厚労省へ「若年者就職基礎能力支援事業（YES－プログラム）認定講座」として申請

厚生労働省は失業率が十％前後で高止まりしている若者の就職を後押しするため、企業が事務・営業系の人材に求める基礎能力の証明書「若年者就職基礎能力修得証明書」を発行する制度を平成十六年十月からスタートさせています。これは若年者の企業への就職を高めるためのコミュニケーション能力、職業人意識、基礎学力、ビジネスマナー、資格取得の五つの能力を修得した者に申請により証明書を発行する制度です。これの申請に必要なコミュニケーション能力、職業人意識、基礎学力、ビジネスマナーを修得するための講座として「キャリア開発論Ⅰ」「キャリア開発論Ⅱ」さらには来年度新規開設予定科目「キャリア開発論Ⅲ」を厚生労働省に認定申請いたしました。これの認定を受けた場合、キャリア開発論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲを受講し単位を取得（平成十六年度以前に取得した学生は除く）した学生は他に情報技術関係又は経理・財務関係又は語学関係から一つ以上の資格（左記指定資格参照）を取得し厚生労働省に申請することによりこの証明書が発行され就職の際のアピールにも活用することができます。

厚生労働省若年者就職基礎能力支援事業（YES－プログラム）認定予定講座

科目	副題	担当者	講師	単位	配当学年	期
実践学習	キャリア開発論Ⅰ（コミュニケーション能力・職業人意識）	富永	塚谷	2	1～4	前期
	キャリア開発論Ⅱ（基礎学力〈社会人常識〉・ビジネスマナー）	富永	塚谷	2	1～4	前期
	キャリア開発論Ⅲ（基礎学力〈読み書き・計算〉）	伊藤	伊藤	2	1～4	後期

「若年者就職基礎能力修得証明書」申請に必要な資格（一つ以上）

領域	資格の名称等
情報技術	基本情報技術者試験、初級システムアドミニストレータ試験、Microsoft Office Specialist Access、Microsoft Office Specialist Excel、Microsoft Office Specialist PowerPoint、Microsoft Office Specialist Word、P検-パソコン検定試験1級、P検－パソコン検定試験2級、P検－パソコン検定試験3級
経理・財務	簿記検定試験1級、簿記検定試験2級、簿記検定試験3級、簿記能力検定試験1級、簿記能力検定試験2級、簿記能力検定試験3級、パソコン財務会計主任者試験1級、パソコン財務会計主任者試験2級、ビジネス・キャリア制度修了認定試験 経理・財務 中級、ビジネス・キャリア制度修了認定試験 経理・財務 初級、BATIC 320点以上
語学力	実用英語技能検定1級、実用英語技能検定準1級、実用英語技能検定2級、実用英語技能検定準2級、TOEIC 500点以上

Topic 10
歓喜溢れる再会パーティーに出席して

同窓会副会長　丸山治茂

平成十六年十一月十四日（日）第三十九回商大祭がテーマ「全力疾走－折り鶴四十万羽への道のり」を掲げ、学生達が盛大に商大祭を開催している最終日でありました。

岡山商科大学同窓会主催の再会パーティーが井尻記念館の四階で盛大に開催されました。

同窓会顧問の井尻学長・好並名誉教授・近藤名誉教授・鳥越教授の諸先生方や西山同窓会会長・田頭同窓会副会長をはじめ多数の同窓会会員の皆様方が出席されました。

商学部一期の土師氏の乾杯の音頭で再会パーティーは開会しました。

「Y先生お元気そうで…」とか、「Aさん景気どうや…」や、「井亀さん（商学部二十二期）のライブ、さすがプロやな…歌に共鳴し、拍手の音がすごい…」出席された皆様方は学生時代の思い出話や仕事の話から趣味の話等々、終始和やかに親睦を深め、旧交を温めていました。

東京から来られた井亀氏が感動のライブの後、時間が許す限り再開パーティーに出席して、懐かしく会話したり、気楽にサインをしていました。

再会パーティーに出席された皆様方にとっては楽しく実り豊かな一日であり、歓喜溢れる時間を共有できた幸福を、強く実感しているようでありました。

「皆様方どうぞご健勝にて、また再会しましょう！」

本学卒業生 井亀氏の熱唱ライブ

エッセー
数珠つなぎ

「新人教員の自己点検」

法経学部法学科　講師　下田大介

若手の教員の仕事の中心は、「研究」と「教育」です（他にもいろいろ仕事はありますが、この二つが柱であることは間違いないでしょう）。もっとも、「研究」と「教育」は、それぞれ別個の仕事なのではなく、しばしば、車の両輪に喩えられます。

昨年四月の着任前、私が不安だったのは「教育」の方の車輪でした。科目を担当するのは初めての経験でしたし、「教育」は、十分な準備がなされていなければ、迷惑を被るのは学生だからです（他方、「研究」はお褒めもお叱りも自分に跳ね返ってきます）。そこで、私は、着任前からある程度の準備をしてきましたし、着任後も多くの時間を「教育」の仕事に割きました（「研究」が疎かになっていることのいいわけかもしれませんが…）。

ところで、私の恩師は、以前、教育について、「もし、試験の結果が悪ければ、学生の勉強不足を嘆くのではなくて、講義の仕方が悪かったのではないか、難しい話ばかりして教員の自己満足に陥っていないか、疑うべきなんです」と言われました。私は、この言葉を忘れないよう心がけてきましたが、前期試験の結果からすれば、私の講義はまだまだ改良の余地があるように思われます。

そこで、以下では、前期の終わりの方で講義中に個人的に行ったアンケート（無記名・不様式で、講義の感想・文句・要望などを書いてもらったもの）をもとに、自己点検してみたいと思います。

アンケートで一番多かったのは、レジュメの〔　〕欄（学生自身に記入してもらう空欄）が小さいという意見でした。これについては、レジュメはノート作成のサポート役であって、〔　〕欄もノートに記入すればよいと考えています。レジュメを配布することの当否も問題（過保護？）ですが、レジュメをもらったことで学生が安心しないよう注意が必要のようです。もっとも、以後は、〔　〕欄を大きめにとるようにしています。

次に多かったのは、講義スピードが速いという意見（話すのが速い・板書が速いなど）でした。「スピードアップはいたしかたないでしょう」との同情もみられましたが、素直に反省すべき点だと考えています。講義内容をスリム化し、ポイントをゆっくり解説できるよう精進を続けるつもりです。板書も後期はできるだけ消さないよう心がけています。

講義の難易度については、「留学生には難しかった」との意見があったほか、「民法が身近に感じられた」と評価してくれるものもありました。「図を用いて登場人物になりきって説明」するやり方は、おおむね好評だったように思います。もっとも、それが試験結果に必ずしも結びついておらず、難易度設定の難しさも感じます。

このほか、「講義の時間が長かった」という意見もみられました。長く「感じられた」という意味なら、こちらも集中力を持続させる工夫が必要でしょうが、「ギリギリまでするので、次の講義に遅れた」とのことでした。手洗いの時間を考慮しても、教室移動に相当な時間がかかるほど本学は広くないと思いますよ。

以上、私なりに自己点検してみましたが、私に限らず、本学の先生方は、学生諸君の声に耳を傾ける用意があります。しかし、それは、皆さんに楽をしてもらうためではなく、より高い教育効果を得るためです。そのためには、できるだけ多く講義に出席し、その上で、次期につながる建設的な批判をしていただきたいと思います。アンケートには「全てが嫌です」とだけ書いたものがありました。これなどは、新人の教員をヘコませるのには十分ですが、全く非建設的で、子供じみた印象を受けます。

商大のみなさん はじめまして 처음 뵙겠습니다!
チョウム ペプケスムニダ

招へい研究員　**鄭泰鴻（チョン・タイホン）**
韓国忠清大学観光学部教授

岡山商科大学と友好提携を結んでいる、韓国の忠清大学から初の研究教授として来岡。井尻学長の招請を受け、本年九月から岡山商科大学で研究活動を行なっています。わたしの専攻は地理学で、特に観光学との関連から「農村観光開発」に多大な関心を持ち、博士号も「農業観光の空間的特性分析」というテーマで取得しました。

忠清大学では観光学部に籍を置き、「観光地理」「観光開発」等の科目を担当していたが、最近、特に地域の文化的特性の分析と、伝統祝祭に対する関心が高まり、これに関連する研究を進める途中で日本における同一分野の調査・研究のため来日することになりました。

わたしは当地において、日本の伝統祝祭(祭り)に関連した各種の資料を収集するとともに、農村地域を訪問、日本における農村観光の先進事例を調査する予定で、現在そのための準備に余念がありません。加えて来年三月からは、九州から北海道まで踏査旅行をしながら、本格的な研究資料の収集を行なう予定にしています。

当地におけるわたしのもう一つの楽しみは韓国から来た留学生たちとの交流。今後の進路に関する相談から始まり、個人的な悩み、果ては恋愛問題に至るまで、様々な問題が持ちこまれます。学生たちの相談役を引き受け、時には激励を、時にはきついアドバイスを与えつつ、身近に彼らと交流することは、わたしにとって研究とはまた別の意味で大きな励みとなることでしょう。

趣味は写真撮影。韓国でも各種のコンテストで入賞経験のあり、帰国後、日本各地を旅しながら撮影した写真を基に展示会を開くことが、ささやかなわたしの夢です。

Shodai365 Vol.78 岡山商科大学学報2005/1月号

Information
情報アラカルト

図書紹介

韓国でベストセラーとなったMKタクシーオーナー青木定雄氏一代記の邦訳。「奉仕」の精神から氏の経営哲学を解き明かす。
監修に本学学長 井尻昭夫、監訳 本学助手 全円子、訳者として本学の学生7名が参加している。
（西日本法規出版／2004）

3月22日 学位記授与式です

平成17年学位記授与式が次の日程で挙行されます。
▶日時／平成17年3月22日（火）
10：30～
▶場所／岡山商科大学 体育館

訃報

本学名誉教授 佐伯信之氏が平成16年9月26日逝去されました。つつしんでご冥福をお祈り申し上げます。

公開講演会 社会総合研究所

社会総合研究所 公開講演会を次のとおり開催いたします。受講料は無料ですのでぜひご参加ください。
▶日時／平成17年２月５日（土）13：30～15：00
▶場所／岡山商科大学781教室
▶講師／國領二郎 氏（慶應義塾大学情報環境情報学部教授）
「ユビキタスネットワーク時代の経営」
▶受講料無料
※問い合わせ／社会総合研究所（086－256－6656）まで

平成17年度 学生定期健康診断について 厚生課

平成17年度の定期健康診断を下記のとおり実施しますので、必ず受診してください。

1.実 施 日

日 程	対 象	実施時間	実施項目	実施場所
4月 4日（月）	4年生	8:40～16:00	計測・内科診察	6号館1階
4月 8日（金）	1年生・院生・研究生	〃	〃	〃
4月11日（月）	2年生・院生・研究生	〃	〃	〃
4月15日（金）	3年生・院生・研究生	〃	〃	〃
4月18日（月）	予備日	10:00～16:00	〃	〃

2.項 目／身長、体重、血圧測定、視力測定（1・4年生、院生、研究生のみ）、尿検査、胸部レントゲン間接撮影、内科診察
3.実施機関／岡山クリニック、粟井内科診療所

不用品ありませんか？ 留学生課

卒業などで不用品の処分を考えている方、留学生課では来年４月に入学する留学生のために必要に応じて引き取ります。協力いただける方は留学生課までご一報ください。
●連絡先／086-256-6659

イチオシ！この一冊5

論文に悩む あなたへの福音

本学の図書館にはレポートや論文を書くための文献が数多く眠っています。それらの中から今回は「論文のテーマ設定に悩む学生の方」にこの一冊を紹介します。

この本では、論文のテーマは「独創的」であることの重要性を語っています。つまり「今までにたくさんの人が問題を立てながら未解決なところにもう一度問題をたてる」「いまだかつて誰も問題を立てたことのないところに問題を立てようとする」この2点だということです。そのため初心者には類似性を見つけることから始めるように薦めています。「類似性を見つける」とは…？具体的な作業は実際皆さん方にこの本を手にとって学んでいただきたいと思います。（附属図書館）

「勝つための論文の書き方」
鹿島 茂 著／文春新書（2003）

商・大・四・季 学友会 愛の献血

現在（いま）を遡ること四半世紀、今ではすっかり恒例となった学友会の献血活動が始まった。以来毎年この活動は続けられ、今では年２回実施が定着している。これは昭和54年の時の様子を伝える学報。年によっては300名を超える学生が献血した。平成元年８月４日 学友会本部は永年の献血活動に対し県知事からの表彰を受けた。

295人が愛の献血
43年以来2度目

学報第4号

編集後記

あけましておめでとうございます。▶商大が40年を迎えるにあたり過去の資料を紐解く機会をいただきました。興味深い資料に出合うこともしばしばで、そんなときは仕事の手を休めてつい読み耽ってしまいます。▶今回はそんな中で見つけたものから、「商大生気質」と題して記事を組んでみました。現在の眼で見ればいささか古めかしいと感じる向きもあるかもしれませんが、むしろそこから蘇ってくる当時の学生の姿に想いを馳せていただければ幸いです。▶今後もそのような資料から少しずつ還元できればと考えています。（O）

●ご意見・ご感想等は、総務企画課学報担当まで E－Mail／gakuho@po.osu.ac.jp

発行所 岡山商科大学 〒700－8601 岡山市津島京町2丁目10－1 電話（086）252－0642（代）
印刷 山陽印刷株式会社